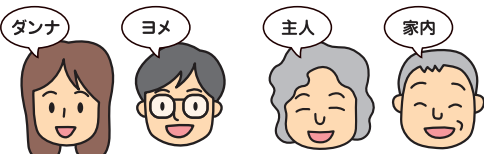


4.ジェンダーの視点で暮らしを考えよう

あびこ女性会議

1 どんな呼び方で配偶者を他人に話しますか？

2018年の市民のチカラまつりで聞き取り調査をしました。多かったのは、若い世代は夫を「ダンナ」、妻を「嫁(ヨメ)」高齢の世代は夫を「主人」、妻を「家内」

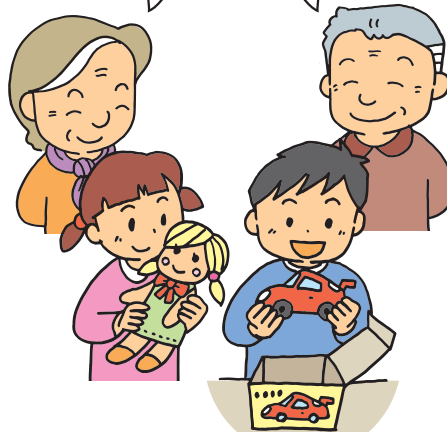


呼び方	10~30歳代	40~50歳代	60歳代以上	
妻が夫を	主人	1	7	34
	夫	2	1	17
	亭主	0	0	1
	つれあい	0	0	3
	ダンナ	12	12	4
	名前	2	1	7
	その他	2	4	7
女性計(117人)	19	25	73	
夫が妻を	妻	0	3	6
	嫁(ヨメ)	5	5	2
	女房	0	3	14
	つれあい	0	0	0
	家内	0	5	20
	名前	0	0	4
	その他	1	3	17
男性計(88人)	6	19	63	

※友人同士の会話などラフな場面を想定し選択肢を用意して回答していただきました。

2 子どものおもちゃをどう選びますか？

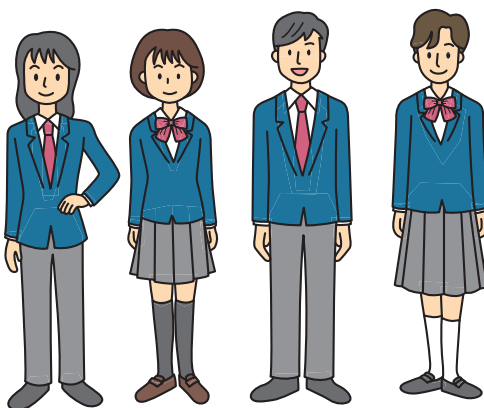
女の子はお人形か、ままごとセットが喜びそう。
男の子にはミニカーが怪獣ね。そうだね。



性別で選んでいませんか？そんなあなたの行動がジェンダー意識の再生産につながってしまうことがあります。

3 「ジェンダーレス制服」が広がっています

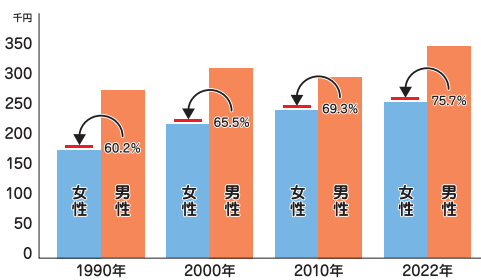
学校の制服が変わりつつあります。男女で決めるのではなく、性差を感じさせない「ジェンダーレス制服」の広がります。これは、トランスジェンダーの子どもへの配慮が大きな理由とされます。男女兼用で組み合わせも選べる、これが楽しい学校生活につながればいいですね。



※トランスジェンダー：出生時の性別と自認する性別が異なる人

4 賃金の男女格差 女性は男性の75.7%

労働の対価であり暮らしを支える重要な賃金。ここでも男女格差が明白。長期的には格差は縮小傾向にありますが、依然として大きい現実があります。



(一般労働者の所定内給与額) 単位：千円

	1990年	2000年	2010年	2022年
女性	175.0	220.6	227.6	258.9
男性	290.5	336.8	328.3	342.0
男性=100	60.2	65.5	69.3	75.7

一般労働者：短時間労働者以外の者
所定内給与：決まって支給する給与のうち、所定外労働給与(時間外手当、休日出勤手当等)以外のもの
(出所 厚生労働省)

(国立女性教育会館 男女共同参画統計リーフレット2023から)

あびこ女性会議

代表 佐竹 礼子
電話 04-7139-6219
住所 我孫子市 若松172-3

あびこ女性会議は、1996(H8)年10月の発足から27年となる市民グループです。女性であれ男性であれ、誰もが「男だから」「女だから」といった社会的に作られた性別(ジェンダー)からくる役割分担を押しつけられたり、偏見や差別、不平等を受けたりすることなく、自分らしく生きられる社会の実現を目指すというのが、活動の目的です。

主な活動としては、月1回の学習会・定例会、市との共催イベントです。SDGsの5は「ジェンダー平等を実現しよう」なので参加させていただきました。